

各 位

上場会社名	株式会社 トーメンデバイス
代表者	代表取締役社長 石川 静香
(コード番号)	2737)
問合せ先責任者	経理部長 山口 孝
(TEL)	03-3536-9150)

## 通期業績予想及び期末配当予想の修正(増配)に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成22年4月26日に公表いたしました平成23年3月期の通期業績予想及び平成23年3月期の期末配当予想を下記の通り修正しましたのでお知らせいたします。

記

### ● 業績予想の修正について

平成23年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	161,000	2,920	3,060	1,810	266.10
今回発表予想(B)	177,000	4,100	4,600	2,700	396.95
増減額(B-A)	16,000	1,180	1,540	890	
増減率(%)	9.9	40.4	50.3	49.2	
(ご参考)前期実績 (平成22年3月期)	138,909	2,760	2,910	1,724	253.46

上記の業績見込みは、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後さまざまな要因により、予想数値と異なる可能性があります。

#### 修正の理由

当第2四半期は、終盤に景気の減速感が漂ったものの、新興国を中心とした外需や政府の経済政策の効果等により緩やかな回復基調を辿りました。エレクトロニクス業界におきましても、新興国における需要回復、Windows7によるPC需要の活性化及びエコポイント効果による薄型テレビを代表とするデジタル家電の需要増等により好況のまま推移しました。

ただし、第3四半期以降につきましては、欧米景気の減速感が強まり、同市場は低迷しております。一方、国内においてもエコカー補助の終了、エコポイント効果の縮小等により閉塞感が漂っており、また、円高基調から、各輸出企業の先行きに不透明感が強く、半導体業界におきましても、DRAM各社の生産能力の向上に反して、欧米市場の低迷及び個人用PC需要の一巡等により、DRAM価格の下落が鮮明となってきております。液晶パネルにつきましても、パネルメーカーの生産調整及びセットメーカーの在庫調整が進み、価格下落傾向は落ち着くとの見方もありますが、その気配はまだ見えておりません。

これまでとは一転した厳しい状況が続くと予想されますが、スマートフォン需要の拡大、法人向けPCの買い替え需要の喚起等、期待される分野もあり、通期業績予想を上記のとおり修正いたしました。

### ● 配当予想の修正について

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
前回予想 (平成22年4月26日発表)	—	0.00	—	35.00	35.00
今回修正予想	—	—	—	50.00	50.00
当期実績	—	0.00	—		
前期(平成22年3月期)実績	—	0.00	—	35.00	35.00

#### 修正の理由

上記の通り、平成23年3月期通期連結業績は、前回発表予想を上回る売上高及び利益を達成する見込みです。つきましては、平成23年3月期における期末配当金を、前回予想の普通配当35円に15円増配し、1株につき50円配当へと修正することいたしました。1株につき50円配当は過去最高の配当額となります。

なお、本件は平成23年6月下旬開催予定の第20回定時株主総会に付議する予定です。

以 上